

電子メール向けの Retain

Retain Unified Archiving は、Microsoft Exchange、Office 365、Gmail、および OpenText のメッセージを統合的にアーカイブするためのマルチプラットフォームソリューションです。メッセージデータは 1 か所にアーカイブされ、エンドユーザーと管理者は Retain Web Access Archive Viewer から直接アクセスすることができます。

製品の概要

OpenText™ Retain Unified Archiving の強力なツールにより、アーカイブされたコミュニケーションデータに対して迅速なアクセス、検索、監査が可能です。訴訟ホールドの実施とメッセージデータの印刷、転送、保存、編集、エクスポートを簡単に行えます。コストを削減し、リスクを緩和し、オンプレミスやクラウド上の複雑な状況に対処することができます。

主な特長

環境オプション

サポートされる電子メールシステム: Retain は、OpenText™ GroupWise、Microsoft Exchange、Microsoft 365、G Suite Gmail Education、Bloomberg のアーカイブをサポートします。

統合アーカイブ: マルチプラットフォームの電子メール、予定、ファイル、添付ファイルを含め、すべてのメッセージデータが 1 つの統合データアーカイブに保存されます。検索、公開、e ディスカバリを 1 か所で実行できます。

ポリシーベースの統合アーカイブ: Retain では、総合的な設定が可能なポリシーが用意されており、アーカイブする電子メールメッセージデータを定義できます。これらのポリシーにより、メールボックスタイプ、メッセージソース、項目タイプ、メッセージステータス、メッセージ保存期間、添付ファイルに基づいて、アーカイブする対象を定義できます。

混在環境の統合アーカイブ: Retain では、環境内に混在しているメッセージングプラットフォームが同時にサポートされます。Exchange、Office 365、Gmail、Bloomberg、GroupWise の電子メールデータを 1 つの中央アーカイブから表示できます。

柔軟なアーカイブアクセス: エンドユーザーの電子メールクライアント、Retain Mobile アプリ、ブラウザーベースの Web アクセスクライアント、Offline Archive Viewer といったさまざまな場所から Retain アーカイブに直接アクセスして、ブラウズや検索ができます。さらに、アーカイブしたデータをスタンドアロンのポータブルアーカイブビューアにエクスポートすることもできます。

プラットフォームに依存しないアーカイブ: Retain では、プラットフォームに依存しない形式でメッセージデータをアーカイブするため、どの電子メールシステムでも、混在環境でも、対応できます。電子メールシステムのマイグレーションも簡単です。

プラットフォームのマイグレーション: 現在のメッセージデータをすべて Retain にアーカイブし、新しいメッセージングシステム (Office 365 など) を実装してから、新しいシステムに Retain を接続するだけです。ダウンタイムやエンドユーザーのサービス中断を発生させることなく、すべてのデータにアクセス可能です。

電子メールプラグイン: アーカイブされたメッセージは、Outlook、Web Access、GroupWise から直接アクセスと検索が可能です。Retain では、オフラインアクセス用に指定した条件に基づいてアーカイブデータをキャッシュできます。

メッセージの削除: Retain では、Exchange、Office 365、GroupWise などのシステムのストレージ容量とサーバー負荷を抑えるためのメッセージ削除ポリシーが用意されています。Retain にアーカイブされた電子メールや保存期間を過ぎた電子メールをサーバーから削除するようにポリシーを設定できます。

Retain Unified Archiving



Retain は、電子メールのみのアーカイブにとどまらず、電子メール、モバイルコミュニケーションのようなあらゆるビジネスコミュニケーションのデータに統合アーカイブを提供して、ケース評価、検索、e ディスカバリ (電子情報開示) 対応を支えます。この製品はオンプレミスにもクラウドにも導入できます。Microsoft Exchange、Office 365、Gmail、Bloomberg、OpenText GroupWise の各プラットフォームの電子メールもアーカイブ可能です。Retain Mobile では、Android、BlackBerry、iOS の各モバイルデバイスのコミュニケーションデータ (SMS/ テキストメッセージ、BBM メッセージ、BBM Enterprise、通話ログ、PIN メッセージなど) をアーカイブできます。

簡単な導入：オンプレミスソリューションとクラウドソリューションのどちらを選択しても、OpenText が実装プロセスを最初から最後までサポートします。

シングルサインオン：Retain では、Outlook、Web Access、GroupWise のどれを使用していても、アーカイブにシングルサインオンでアクセスできます。

インテリジェントなアーカイブ：Retain は、Microsoft の回復可能なアイテムフォルダーまたは EWS 偽装を利用して、インテリジェントできめ細やかなアーカイブを提供します (ジャーナリング以外にも対応)。必要に応じてジャーナリング経由のアーカイブも可能です。

オンプレミスまたはクラウドの統合アーカイブ：データの保存方法を選択できます。アーカイブデータは、オンプレミス (組織のファイアウォール内) または OpenText クラウドに保存できます。

PST ファイルと個人用アーカイブの管理：Retain では、分散した PST ファイルや個人用アーカイブを 1 つの中央アーカイブにまとめて、PST ファイル、個人用アーカイブ、GroupWise 個人用アーカイブを管理できます。さらに、Retain の統合アーカイブにメッセージデータをアーカイブすると、PST ファイルや個人用アーカイブが不要になります。

SMTP および Secure FTP 転送：組織のニーズに基づいて、すべてのメッセージの SMTP および Secure FTP 転送が可能です。

e ディスカバリ、アクセス、ブラウズ、検索、エクスポート

e ディスカバリ機能搭載：Retain の e ディスカバリツールにより、組織は訴訟ホールドの実施、およびメッセージデータの印刷、転送、保存、編集、取消、エクスポートを簡単に行えます。

設定可能な権限：アクセス制御リストにより、役割に基づくカスタマイズ可能な権限を付与することで、ユーザーや管理者などの Retain システム機能へのアクセスを管理します。

コンプライアンスと管理：エンドユーザーが管理者から事前に承認を得ずに、GroupWise、Gmail、Exchange、Office 365 のメッセージを自動的にパージおよび削除できます。Retain で自動パージを無効にすれば、意思決定者に無断でメッセージが削除またはパージされることはありません。また、SmartPurge もサポートされています。メッセージの改ざんや削除を禁止することで、完全なアーカイブポリシー制御が実現します。これらの機能により、アーカイブデータの完全性とコンプライアンスが確保されます。

完全なエクスポート機能：データを PST、PDF、またはスタンドアロンのアーカイブビューア形式で簡単にエクスポートできます。エクスポートされたファイルは、すべてインデックスが付けられ検索可能で、目次が含まれるためすばやく参照できます。

編集管理：エクスポートしたデータは編集でき、個人情報や他の編集済み項目をオープンレコード要求に含めないようにすることができます。

機密性の高いスマートなルールベースのタグ付け：管理者やエンドユーザーは、カスタムタグを作成してアーカイブ内のメッセージに付けることができます。監査官、管理者、および権限を持ったユーザーは、アーカイブされたメッセージに「機密」マークを付けることができます。こうしたマークが付いたメッセージの閲覧や検索は、権限を付与されたユーザーのみが可能です。また、正規表現などの設定条件に従い、アーカイブ中のメッセージにタグや「機密」マークを付けることもできます。検索可能なこのタグにより、e ディスカバリ対応が容易になります。

アーカイブデータの検索およびブラウズ機能搭載：Retain は Google に似た検索ツールを備えており、中央管理されたアーカイブ内のすべての電子コミュニケーションデータをすばやく簡単に検索できます。メッセージタイプごとに複数のアーカイブやベンダーシステムを検索する必要はありません。ユーザーが検索語句を入力すると、すぐに検索結果が表示されます。また、検索語句の入力時に検索候補 (件名、本文、テキスト、電子メールアドレス、タグ、ユーザーなど)

を提示する機能もあります。制限付き正規表現 (REGEX) もサポートしており、社会保障番号やクレジットカードなどの検索が可能です。さらに、重複したレコードは検索から除外されるため、特定の検索に対するヒット数を抑えられます。さらに、高度な検索機能テクノロジーにより、接続されたデータセットのうちアーカイブリポジトリ内に保持されていないものを検索して、アクションを実行し、e ディスカバリアクティビティを実行できます。

Retain High Performance Indexing Engine：Retain には、データをすばやく簡単に取得できるように、High Performance Indexing Engine が搭載されています。Retain にアーカイブされたメッセージはすべて、直ちにアクセス、検索、e ディスカバリが可能です。メッセージをアーカイブすると、ほぼ遅延なしにインデックスが付き、検索可能になります。High Performance Indexing Engine のクラスター化可能な高性能インデックスは、無制限の数の検索要求に対応できます。この外部エンジンは、負荷分散フォーマットでパフォーマンスを向上させたり、フェールオーバーフォーマットで冗長性を確保したりできます。組織のニーズに応じて、負荷分散またはフェールオーバー (あるいはその両方) のフォーマットで使用可能です。

Web Access Archive Viewer：Retain はブラウザベースの使いやすいインターフェイスと強力な検索ツールを備えており、アーカイブのアクセス、検索、e ディスカバリを迅速に実行できます。

Offline Archive Viewer：Offline Archive Viewer を使用して、ユーザーは Web にアクセスせずに Retain アーカイブをブラウズおよび検索できます。

訴訟ホールド：Retain では、将来の訴訟で証拠になる可能性のある電子メールを保護するために、アーカイブした項目にフラグを付けて、訴訟ホールドの解除まで削除などのアクションから保護できます。

監査証跡：Retain では、管理者およびアーカイブの検索権限を持つユーザー全員について、検索可能な監査証跡が作成されます。

お問い合わせ



これにより、すべてのアクティビティを記録できます。

すばやく簡単に取得：Retain には、Lucene インデックスエンジンまたは大規模導入用の Retain High Performance Indexing Engine が組み込まれています。

エンドユーザーのメールボックス管理：Retain Web Access Archive Viewer を使えば、データの検索や復元が簡単にできます。エンドユーザーは、管理者のサポートなしに、それぞれのコンテキストでメッセージの検索、転送、印刷、復元、アクセス、閲覧ができます。

ストレージとレポート

安全なストレージ：Retain は、オンプレミスで導入した場合でもクラウドに導入した場合でも、多層セキュリティでメッセージデータをアーカイブします。MS SQL、MySQL、Postgres、Oracle など、さまざまなデータベースをサポートしています。AES 暗号化、EMC Centera、または NetApp Snaplock ストレージでメッセージをアーカイブする場合は、安全なストレージに加え、オプションで Windows サーバーまたは Linux サーバーの暗号化パーティションを使用できます。さらに、Retain は iCAS テクノロジーをネイティブでサポートしています。

サードパーティ API：Retain 内で、サードパーティとの外部統合が可能です。データの正確性を維持しながら、情報をアーカイブに取り込むことができます。

単一インスタンスストレージ：Retain では、各メッセージおよび添付ファイルのコピーは 1 つずつしかアーカイブされません。

ストレージの継続的なサポートとアップグレード：24 時間 365 日体制のサポート、継続的なアップグレードと保守により、心配は無用です。

システムパフォーマンスの向上：Retain は、メッセージングデータを安全にアーカイブすることで、メッセージングシステムの最適なパフォーマンスを保証します。これにより、メッセージングサーバーのストレージを最小限に抑えることができます。

システム統計とレポーティング：システムパフォーマンスをモニターできます。レポートは、ダッシュボードに表示できるほか、定期的に電子メールで送信したり、CSV、Excel、HTML、PDF などのさまざまな形式で生成、保存したりできます。

「医療機関である Health First では、常に何らかの訴訟手続きが進行しています。そのため、電子メールアーカイブの一元管理を強化する必要がありました。それを可能にしたのが Retain です。Retainのおかげで、e ディスカバリ対応を Health First の法務部門に直接任せられるようになりました。その結果、IT 部門の負担が大幅に軽減され、法務部門が検索結果を即座に確認できるようになっています」

DANIEL BRAY氏

システムオペレーションアナリスト
Health First

詳細はこちら：
www.opentext.com